東(こ)風(ち)

〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298

旭川市立神居東中学校
元年度学校だより
No. 7
10月25日（金）発行
発行責任者 教頭：小嶋

「プロセスを重視し，目標に向けて成長する秋に」

校長　森田聖吾（もりたせいご）

１０月は「スポーツの秋」や「読書の秋」などと何をするにしても絶好の季節のはずでしたが，台風15号，台風19号が日本に大きな被害をもたらしました。被害に遭われた皆様方に，謹んでお見舞いを申し上げます。

さて，**「スポーツの秋」**と言いましたら，今年はラグビー日本代表の快進撃ではないでしょうか。**自分のこと以上に，仲間のために，勝利という一つの目的（目標）のために**，全選手が一つになって戦う姿は，日本国民に**「勇気」**と**「感動」**を与えてくれました。日本代表のチームスローガンである『ONE TEAM』を本校の教育においても，改めて大切にしていきたいと意を強くしたところです。

次に，「スポーツの秋」に関わる本校の明るい話題を紹介させていただきます。

① 第48回旭川大雪クラブ杯中学新人バスケットボール大会　男子優勝(9/30)
② 第37回北海道中学校駅伝競走大会　女子優勝（２年連続）(10/6)
③ 第６回地区カブスリーグ北海道決勝大会　サッカー優勝(10/14)

男子のバスケットクラブ，女子の駅伝チーム，サッカー部が，それぞれの競技において，まさに**東中として『ONE TEAM』で戦い**，優勝という輝かしい栄光を収めました。その証である２つの優勝カップと優勝旗を学校に飾っております。

次に，**「読書の秋」**として，「『学力』の経済学（教育経済学者 中室牧子著）」から，興味深い内容を１つ紹介させていただきます。

それは，**「子どもはほめて育てるべきなのか？」**という疑問についてです。作者は，子どもをほめる際には，その**「ほめ方」**が重要であると結論づけています。

例えば，「今日は数学を２時間も勉強できたんだね」「今回の大会ではチーム全員で決めた作戦を達成できたね」と，具体的に子どもが達成した**「内容」**を取り上げてほめることです。そうすることによって，更なる努力を引き出したり，次の目標（１ランク上のステップ）に挑戦したりする子どもに育つと結論づけています。

このように，「テストでの点数」や「試合での勝ち負け」の**結果でなく，プロセスを重視し，**そこに価値を見出すように育てることが子どもの成長を左右します。結果はその延長線上にあり，後からついてくるものなのです。

学校では，１１月はいよいよ三者面談が始まります。３年生は進路実現に向けて最終相談の時期となります。１・２年生は保護者面談となり，２学期の学校と家庭での行動や取組を交流し，今後の指導方針について共通理解を図ります。

その際，結果を出すことだけにとらわれるのではなく，**「目標に向かっていかに取り組むか」**という**プロセスを重視**できるよう話し合っていただきたいです。

保護者や地域の皆様におかれましては，今後とも本校の教育へのご支援とご理解をよろしくお願いいたします。